

3D 地形点群モデル解析基礎技術

3D 地形点群モデルは古くは空中写真測量技術により判読した標高点を元に縦横断地形などが作成されてきました。その後航空レーザによる標高計測が登場し、3D 点群モデルはレーザ計測による作成が主流となりました。レーザ計測技術はその後自動車搭載型（MMS: Mobile Mapping System）が登場し、道路周辺の詳細な 3D 点群モデルが得られるようになり、さらに UAV 搭載型、地上据え置き型、など様々な方法で取得できるようになりました。今後は手持ちタイプも加わってくるものと考えられます。一方、これらレーザ計測方法にはそれぞれ長所と短所があり、今後は目的に応じて組み合わせて利用するなどのニーズが高まると予想されます。

そこで、このような背景から本講習会では様々なレーザ計測技術について全体像を整理すると共に、航空機搭載型と地上設置型レーザ計測データを用いた 3D 点群モデル作成の方法について実習方式で講習します。

※3密対策として、換気の徹底や、衛生対策、座席間隔を広くするなど、ソーシャルディスタンスに配慮して開催致します。

また、感染予防対策として、検温、マスク着用等にご協力頂きますようお願い致します。

■講習会日時および会場

2020 年 12 月 7 日（月） 9:30~16:30

公益社団法人日本測量協会 5F 研修室

〒113-0001 東京都文京区白山 1-33-18

地下鉄都営三田線白山駅下車 1 分

■ 講 師

住田英二 日本測量協会常務理事

今井靖晃 日本測量協会認定講師

高藤亨仁 日本測量協会認定講師



■講習内容

- 9:30-10:10 開会挨拶およびレーザ計測技術による 3D 地形モデル作成の全体像
- 10:10-11:00 3D 地形モデル作成の方法と留意点
- 11:00-12:00 地上レーザと UAV レーザの概要
- 12:00-13:00 昼休み
- 13:00-14:00 地上レーザ計測による 3D 地形モデル作成実習 ①（フィルタリング）
- 14:00-15:00 地上レーザ計測による 3D 地形モデル作成実習 ②（図面作成）
- 15:00-16:10 地上レーザ計測による 3D 地形モデル作成実習 ③（構造化、成果作成）
- 16:10-16:30 まとめと質疑応答
- 16:30 閉会

■ ご用意いただくもの

- ・ノートパソコン OS : Windows8/10(64bit) メモリ 4GB以上
- ・ハードディスク 250MB以上の空き容量
- ・マウス
- ・USB 端子 (USB メモリから、実習ソフトと実習データを各自の PC にダウンロードし、体験版ソフトをインストールしていただきます。)
- ・筆記用具

■ 使用するソフト

「フィルタリングソフト LandForms (株式会社アイ・エス・ピー)」

■ 受講料

- ・会員 15,000円 (正会員、準会員、特別会員)
- ・一般 22,000円 (同時入会可)

一般でのお申し込みの場合、追加負担なしで入会 (日本測量協会正会員) できます。日本測量協会正会員及び特別会員には様々な特典があります。是非この機会に「同時入会」をお勧めいたします。

■ 受講定員

20名 (定員になり次第締切らせていただきます)

■ 申込期限

- ・2020年11月24日 (火)

■ 申込方法

Web 受付システムからお申込みください。

申込みはこちらから [受付システムへ](#)

お問い合わせ先

公益社団法人日本測量協会サーベリアカデミー事務局 (担当 : 遠藤拓郎)

113-0001 東京都文京区白山 1-33-18 白山NTビル

TEL: 03-5684-3357 FAX: 03-5684-3366

E-mail: academy@jsurvey.jp

受講料は、2020年11月24日 (火) までに下記口座にお振込みください。

振込先 三菱UFJ銀行 春日町支店 普通 1021323 公益社団法人日本測量協会
シャ) ニホンソクリョウキョウカイ

※振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。

■ その他

- ・ 一旦お支払いいただいた受講料等は原則返金できませんのでご了承ください。
但し、中止等により講習会が開催されない場合は返金致します。
- ・ 締切日において申込人数が10名未満の場合は中止する場合があります。
- ・ この講習会は測量CPD 6 ポイントの対象プログラムです。

※新型コロナウイルス感染防止のため中止または延期する場合があります。